

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔米〕
- (2) 在米諮問委員会
- (3) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕
- (4) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔米〕
- (5) 日本研究拠点機関（助成）〔米〕
- (6) 日本研究スタッフ拡充（助成）〔米〕
- (7) 日本研究リサーチ・会議等（助成）〔米〕

2. 人物交流事業費

- (1) 派遣フェローシップ（学者・研究者）〔米〕
- (2) 新渡戸フェローシップ
- (3) 小淵フェローシップ
- (4) 招へいフェローシップ（学者・研究者）〔米〕
- (5) 招へいフェローシップ（論文執筆）〔米〕
- (6) 招へいフェローシップ（短期）〔米〕
- (7) 文化人短期招へい（国際会議）〔米〕

3. 催し等事業費

- (1) 国際会議出席（助成）〔米〕

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔米〕

1. 日本研究事業費	(1) 日本研究調査〔米〕
------------	---------------

海外の日本研究機関・日本研究者に関するディレクトリーを作成する。

合計額 19,544,295円

	事業名	国	期間	事業内容
1	提言対応専門家派遣（カナダ）	カナダ	04.10.31～ 04.11.07	カナダ大学協会（Association of Universities and Colleges of Canada, AUCC）を通じたカナダ日本研究特別助成は今年度で第3期14年目となるが、これまでの助成の成果を確認し、今後の助成継続の必要性を含めた助成方針策定の判断材料とするため、専門家を現地に派遣し、現況視察および関係者との面談を通じた調査報告書を作成
2	対米日本研究事業に関するアンケート調査	米国	04.10.04～ 05.03.31	対米日本研究事業の成果に関する評価を行ない、今後の事業方針策定の判断材料とするために、米国人および日本人を対象にアンケート調査を実施
3	提言対応専門家派遣（米国）	米国	04.11.17～ 04.11.27	対米日本研究助成事業の成果に関する評価を行ない、今後の事業方針策定の判断材料とするため、専門家を現地に派遣し、現況視察および関係者との面談を通じた調査報告書を作成
4	北米日本研究調査	北米地域区分 困難	04.04.01～ 05.03.31	北米における日本研究の実態を把握するため、北米における日本研究調査を実施する。調査結果は従来通りの印刷物としてのディレクトリーを発行する他、他地域の調査結果との連動をはかり、インターネットでの公開も視野に入れた全世界共通データベースの作成を目指した
5	中南米日本研究調査	中米地域区分 困難	04.04.01～ 05.03.31	中南米における日本研究の実態を把握するため、中南米における日本研究調査を実施。調査結果は従来通りの印刷物としてのディレクトリーを発行するほか、他地域の調査結果との連動をはかり、インターネットでの公開も視野に入れた全世界共通データベースの作成を目指した

1. 日本研究事業費	(2) 在米諮問委員会
------------	-------------

在米文化交流事業につき米国各界有識者の意見および助言を得るため、在米諮問委員会を開催する。

合計額 6,317,366円

	事業名	国	期間	事業内容
1	在米諮問委員会	米国	05.01.22～ 05.01.23	第34回AAC（日本研究米国諮問委員会）会議開催に関する現地経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費	(3) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕
------------	-------------------------

海外諸大学の日本研究講座を支援するため、人文・社会科学分野の学者・研究者を派遣する。

合計額 8,300,421円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	志柿光浩	東北大学大学院 国際文化研究科 教授	キューバ	04.09.05～ 04.10.31	ハバナ大学	日本文化・日本史：ラテンアメリカとの比較に関する講義
2	岡本由美子	同志社大学助 教授	アルゼンチン	04.08.07～ 04.09.05	国立ラ・プラタ 大学	東アジアの経済開発に関する講義
3	恒川 恵市	東京大学大学院 総合文化研究科 教授	チリ	04.08.09～ 04.08.31	チリ・カトリッ ク大学	日本の経済政策と東南アジアに関する講義
4	細川周平	国際日本文化研 究センター助教 教授	ペルー	04.08.01～ 04.08.31	ペルー・カトリ カ大学	日本文学と音楽学に関する講義

1. 日本研究事業費	(4) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔米〕
------------	-------------------------

海外諸大学の日本研究講座に対し、人文・社会科学分野の学者・研究者を国外から客員教授として招へいするための経費を助成する。

合計額 3,852,229円

	団体	国	氏名	現職	期間	事業内容
1	サンパウロ大学	ブラジル	中牧 弘允	国立民族学博物 館教授	04.08.01～ 04.10.31	日本宗教に関する講義
2	リオデジャネイ ロ州立大学	ブラジル	井上 章一	国際日本文化研 究センター教授	04.08.30～ 04.10.31	現代日本文化と社会に関する講義

1. 日本研究事業費	(5) 日本研究拠点機関（助成）〔米〕
------------	---------------------

海外の日本研究において特に中核的な役割を担う機関を指定して、その日本研究部門の研究費、運営費などを中長期にわたって総合的に助成する。

合計額 38,733,470円

	機関	国	期間	事業内容
1	米加大学連合日 本研究センター (IUC)	日本	04.04.01～ 05.03.31	米国・カナダにおける日本専門家の養成を目的とし、主として加盟17大学の日本研究専攻大学院生に対し、将来の専門活動に資するべく上級日本語教育の研修を実施

	機関	国	期間	事業内容
2	スタンフォード 日本センター京 都日本研究セン ター (KCJS)	日本	04.09.01～ 05.03.31	主として米国の加盟14大学の日本研究専攻学部生を対象とする日本語・日本文化集中研修センター。3年生を対象に8カ月間の集中講義
3	アルバータ大学 (AUCC)	カナダ	04.07.01～ 05.06.30	近世日本文学担当教官の給与助成
4	カナダ大学協会 (AUCC)	カナダ	04.11.04～ 04.11.05	平成17年度対カナダ日本研究特別助成選考委員会およびレビュー会議に係る開催経費

1. 日本研究事業費	(6) 日本研究スタッフ拡充 (助成) [米]
------------	-------------------------

海外の大学などが日本研究に関連した常勤の教官ポストを増設する場合に、最初の3年間に限り当該者の給与と社会保障費を助成する。

合計額 13,387,956円

	機関	国	期間	事業内容
1	ペンシルバニア 大学	米国	04.01.01～ 04.08.31	政治学助教授の給与助成 (第3年次)
2	カリフォルニア 大学リバーサイ ド校	米国	04.07.01～ 05.06.30	日本文学助教授の給与助成 (第2年次)
3	エモリー大学	米国	04.09.01～ 05.08.31	日本現代文学助教授の給与助成 (第1年次)
4	ポートランド州 立大学	米国	04.09.15～ 05.09.14	経済学助教授の給与助成 (第1年次)

1. 日本研究事業費	(7) 日本研究リサーチ・会議等 (助成) [米]
------------	---------------------------

海外の高等教育・研究機関が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップや集中講座などについて、経費の一部を助成する。

合計額 22,485,937円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	2004年カナダア ジア研究学会年 次総会	カナダアジア研 究学会	カナダ	04.04.01～ 05.03.31	「緊張状態と連携」をテーマにした設立25周年記念シンポジウムの開催

米州交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
2	第18回カナダ日本研究学会年次総会	カナダ日本研究学会	カナダ	04.07.01～ 05.03.31	日加国交樹立75周年を記念したパネル・ディスカッションの開催
3	米国中西部日本研究セミナー	イリノイ大学	米国	03.07.01～ 04.06.30	中西部地域の日本研究者による巡回セミナーの開催
4	日本研究論文会議	社会科学研究評議会 (SSRC)	米国	04.04.01～ 05.02.28	日本研究をテーマにした博士論文の指導
5	日本研究資料専門司書トレーナー養成ワークショップ	北米日本研究資料調整協議会 (NCC)	米国	04.04.01～ 05.03.31	日本関連電子情報活用のための司書研修の実施
6	ゴジラの足跡：世界を舞台にした日本ポップカルチャーの象徴	カンザス大学	米国	04.04.01～ 06.03.31	「ゴジラ」をメインテーマにしたシンポジウムの開催
7	源氏物語が日本と世界に与えた影響について：文化的権威、ジェンダー、メディア、ポップカルチャーといった観点から	コロンビア大学	米国	04.06.01～ 06.05.31	源氏物語が日本文化の中で果たした役割について考察する国際シンポジウムの開催
8	翻訳と変換：能楽における平家物語	ワシントン大学セント・ルイス校	米国	05.01.01～ 05.12.31	平家物語をテーマとしたセッションの開催
9	第8回国際ワークショップ「日本とキューバ：直接交流のための枠組」	アジア・オセアニア研究センター	キューバ	04.04.01～ 05.02.28	日本・キューバ外交関係75周年を記念した、相互協力をテーマとしたセッション開催
10	設立40周年記念日本文化フォーラム	エル・コレヒオ・デ・メヒコラム	メキシコ	04.04.01～ 05.02.28	アジア・アフリカ研究センター設立40周年を記念する日本文化フォーラムの開催
11	第15回全伯日本語・日本文学・日本文化学会	リオ・デ・ジャネイロ連邦大学文学部	ブラジル	04.04.01～ 04.12.30	ブラジル全土の日本研究者の研究発表、ネットワーキングのための会議の開催
12	2004年度日本学研究論文集 Estudos Japoneses 出版事業	サンパウロ大学日本文化研究所	ブラジル	04.04.01～ 05.03.31	ポルトガル語で書かれた日本研究論文の編纂と出版

2. 人物交流事業費 (1)派遣フェローシップ(学者・研究者)〔米〕

海外において人文・社会科学の各分野での共同研究および研究の指導を主とする研究活動を行なう学者・研究者にフェローシップを支給する。

合計額 9,470,630円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	赤林英夫	慶応義塾大学経済学部助教授	米国	05.02.20～ 06.02.19	全米経済研究所(NBER)	申請者がこれまで実施してきた日本の教育政策、特に学校選択に関する経済理論・実証研究を全米経済研究所の教育経済学研究プログラムにおいて推進・紹介。同時に、同研究所プロジェクトへの提案を通して教育経済学研究の発展に貢献
2	永松利文	立命館アジア大 洋州大学大学院 アジア大洋州学 部助教授	米国	04.08.28～ 05.08.20	ハーバード大学 情報政策研究セ ンター	米国におけるメディア・リテラシー教育の事例研究。それを応用し、日本の初等・中等レベルにおけるメディアリテラシー教育の構築、確立のためのカリキュラムを開発。また、米国の本分野教育団体とのネットワーク構築により、日本の文化を取り入れた米国のメディア・リテラシー教育の改良
3	澤田真治	岐阜大学教育学 部助教授	ブラジル	04.10.01～ 05.09.30	サンパウロ州立 カンピーナス大 学	アマゾン流域地方の保護やメルコスルによる地域統合という新しい課題に直面するブラジルの安全保障問題を「人間の安全保障」、「環境安全保障」、「地域安全保障」といった新しい視点から分析を行なった

2. 人物交流事業費 (2)新渡戸フェローシップ

財団法人国際文化会館が実施している社会科学国際フェローシップ(新渡戸フェローシップ)に対する協力として、同会館により選考・推薦された研究者に対し、旅費・滞在費等を支給する。

合計額 6,416,364円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	大中真	桜美林大学国際 学部専任講師	英国	04.04.01～ 05.03.31	オックスフォード 大学セントア ントニーズカ レッジ	苦闘の末に独立を達成したバルト諸国が、なぜ独立後わずか20年で独立を喪失したのか、その原因を探った

米州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
2	川西諭	上智大学経済学部助教授	英国	05.03.15～ 06.03.14	ロンドン・スクールオブエコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス	伝統的なファイナンス理論では説明できない現象に注目しその実態と原因を探求する行動ファイナンス分野において、証券市場の投資家行動の現象を心理的バイアス、情報の不完全性、投資家間の戦略的な駆け引きに注目して研究した

2. 人物交流事業費 (3)小渕フェローシップ

日米両国政府の合意に基づく「小渕沖縄教育研究プログラム」の一環として、米国の東西センター（ハワイ州）を受入機関として人文・社会科学分野に係る研究活動を行なう研究者などに対しフェローシップを支給する。
合計額 18,473,561円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	大角玉樹	琉球大学法文学部助教授	米国	04.10.01～ 05.09.30	ハワイ州・東西センター	太平洋島嶼地域におけるデジタル・オポチュニティと経済・社会開発
2	奥儀峰奈子	琉球大学教育学部助教授	米国	04.09.21～ 05.09.20	ハワイ州・東西センター	グローバル化に向けた小学校における英語教育と英語教員養成プログラムに関する研究
3	吉次公介	沖縄国際大学法学部助教授	米国	05.03.30～ 06.03.10	ハワイ州・東西センター	アジア太平洋の安全保障体制と沖縄－沖縄返還と在沖米軍の現状－

2. 人物交流事業費 (4)招へいフェローシップ（学者・研究者）〔米〕

人文・社会科学分野の学者、研究者で、日本に関わる研究を行なうため来日する必要がある者を招へいする。
合計額 48,852,716円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	EDGINGTON, David William	ブリティッシュ・コロンビア大学 日本研究センター所長	カナダ	04.09.02～ 05.08.01	立命館大学国際関係学部	日本の都市における多文化的計画
2	IKEDA, Satoshi	アルバータ大学社会学部準教授	カナダ	04.12.01～ 05.11.30	京都大学東南アジア研究所	日本の失敗した現代化とイデオロギーの危機：鎖国主義、天皇主義、企業中心主義の東アジア地域と世界的立場からのシステム分析

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
3	KAWASHIMA, Ken	トロント大学 東アジア研究学 部准教授	カナダ	04.06.01～ 04.12.31	法政大学経済学 部	近代日本における植民地、文化 と朝鮮人労働力（1917～1937）
4	MONNET, Livia Rodica	モントリオール 大学 比較文学 科教授	カナダ	04.07.07～ 05.02.28	京都大学 大学 院文学研究科	日本女性映像作家の現在－その 映画、ビデオ・アート、デジタ ル・アートの研究
5	AZUMA, Shoji	ユタ大学准教授	米国	05.03.17～ 06.03.16	大妻女子大学	戦後日本の政治的発言の研究
6	BIALOCK, David T.	南カリフォルニア 大学助教	米国	03.12.02～ 04.12.01	学習院大学文学 部	音の地勢:中世日本における音 楽、話、儀式の研究
7	BOTSMAN, Daniel Vernon	ハーバード大学 歴史学部准教授	米国	04.08.23～ 05.04.22	大阪市立大学大 学院文学研究科	明治期における自由と解放－そ の思想と実践
8	FIELD, Norma	シカゴ大学教授	米国	05.01.11～ 05.09.10	市立小樽文学館	日本のプロレタリア文学：小林 多喜二の100年
9	KASULIS, Thomas Patrick	オハイオ州立大 学比較文化学科 教授	米国	04.05.06～ 04.09.15	南山宗教文化研 究所	日本の哲学：歴史と原典
10	McRAE, John R.	インディアナ大 学准教授	米国	04.01.05～ 04.12.30	南山大学	東アジア仏教の概念地図:越文 化的展望における「聖徳太子」 のh法華経注釈
11	NORNES, Mark	ミシガン大学准 教授	米国	04.03.23～ 05.03.22	早稲田大学大学 院	翻訳者のシネマ
12	PAI, Hyung Il	カリフォルニア 大学サンタバー バラ校東アジア 言語文化学部准 教授	米国	04.09.01～ 05.03.31	京都大学大学院 文学部研究科歴 史文化学系	「日本の古代」をよせ集める：朝鮮 半島における考古学・民俗学と 文化財管理の歴史
13	PINCUS, Leslie Beth	ミシガン大学 歴史学部准教授	米国	05.01.14～ 05.07.13	立教大学法学部 五十嵐研究室	20世紀日本における反対勢力の 系譜
14	SHERIF, Ann	オーバーリン大 学准教授	米国	04.03.30～ 04.12.20	日本大学人文科 学研究所	冷戦の脅威-戦後日本の文学、 メディア、法律（1952～1970年）
15	UNGER, J. Marshall	オハイオ州立大 学東亜語学文学 科主任教授	米国	05.01.16～ 05.11.15	神戸大学文学部	日本語の成立における言語接触 の研究
16	NAGIB, Lucia	カンピナス州立 大学芸術学部 マルチメディア 課助教授	ブラジル	04.10.03～ 04.12.02	早稲田大学文学 部	「日本のヌーベルバーグと身体 リアリズムについて」

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 (5)招へいフェローシップ(論文執筆)〔米〕

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 56,789,636円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	GRIFFITHS, Caitilin, Judith	トロント大学博士課程	カナダ	04.05.07～ 05.05.04	東京大学史料編纂所特殊史料部	中世日本の遍歴尼僧の研究
2	PERRON, Joel Gilles	トロント大学博士課程	カナダ	04.03.29～ 05.03.28	国際日本文化研究センター	岡倉天心と矛盾するジャポニズム
3	BERGSTROM, Brian	シカゴ大学大学博士課程	米国	03.09.01～ 04.08.28	立命館大学文学部	青春、暴力、表現－現代日本の少年犯罪を巡る文学と大衆文化
4	BRYAN, Steven	コロンビア大学歴史学部博士課程	米国	03.10.07～ 04.09.06	東京大学大学院経済学研究科	文明と金－日本とアルゼンチンにおける金本位制(1867～1932年)
5	CANNELL, David Richard	カルフォルニア大学アーバイン校博士課程、インストラクター	米国	05.01.04～ 06.01.03	都留文科大学文学部	元禄時代の俳句
6	EASON, David Anthony	カリフォルニア大学ロサンゼルス校歴史学部大学院生	米国	04.10.05～ 05.07.04	早稲田大学文学部	日本中世移行期における紛争の文化史－十六世紀半ばから十七世紀初期までを中心に
7	EDELSON, Loren	ニューヨーク市立大学博士課程	米国	03.12.15～ 04.11.14	共立女子大学	歌舞伎における女性－1893から現在まで
8	FARRIER, Anna-Marie	プリンストン大学東アジア研究科博士過程	米国	04.05.06～ 05.05.05	東京大学大学院総合文化研究科	循環するフィクション－夏目漱石とゴシックロマン
9	FREIRE, Charles Patrick	カリフォルニア大学バークレー校歴史学部 大学院生	米国	04.09.23～ 05.09.07	東京大学大学院人文社会系研究科	近代日本における宗教と市民社会
10	KIM, Soo	カリフォルニア大学バークレー校博士課程	米国	03.11.11～ 04.10.10	東京芸術大学	過去の実体化-千利休の茶道具、肖像、書について
11	LEUCHTENBERGER, Jan	ミシガン大学博士課程	米国	03.09.01～ 04.08.19	立教大学日本学研究所	近世時代の「切利支丹」仮名草子における西洋のイメージ
12	MARR, Matthew	カリフォルニア大学ロサンゼルス校博士課程	米国	04.3.30～ 05.03.29	宇都宮大学国際学部	二つのグローバル・シティ(東京・ロサンゼルス)におけるホームレス生活から抜け出すプロセス

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
13	MUELLER, Laura Jean	ウイスコンシン 大学マディソン 校美術史学部	米国	04.09.02～ 05.06.27	学習院大学文学 部哲学科	美徳の表現：江戸版画にみられ る儒教の移入
14	OTA, Pauline Ayumi	スタンフォード 大学博士課程	米国	03.09.02～ 04.09.01	慶應義塾大学	遊び－江戸時代の都市の景観
15	QUIMBY, Joanne M.	インディアナ大 学ブルーミント ン校大学院生 (博士課程)	米国	02.10.01～ 03.11.30	立命館大学文学 部	現代日本女流文学におけるジェ ンダー主体性の研究
16	SCARANGELLO, Dominick John	ヴァージニア大 学宗教学部	米国	04.07.31～ 05.07.28	駒澤大学仏教学 部	協力、論争、そして伝統の創造 －日本の神聖な山にて
17	SHAMOON, Deborah	カリフォルニア 大学パークレー 校博士課程	米国	03.10.01～ 04.05.31	早稲田大学法学 部	近代日本文学と映画における' 少女'の文化史
18	SHAPIRO, Michael Isaac	カリフォルニア 大学パークレー 校歴史学部	米国	04.10.01～ 05.09.20	東京大学社会科 学研究所	大正デモクラシー、韓国のナ ショナリズムと文化的ルール
19	SPAFFORD, David	カリフォルニア 大学パークレー 校博士課程	米国	03.09.02～ 04.07.31	東京大学史料編 纂所	衰退と過去－中世日本における 領地と権力について
20	STANLEY, Amy Beth	ハーバード大学 東アジア言語・ 文明学部博士課 程	米国	04.08.18～ 05.08.10	早稲田大学文学 部	徳川時代における都市文化の地 方への影響
21	TAKEYAMA, Akiko	イリノイ大学 アーバナ・シャ ンペン校人類学 部博士課程・リ サーチアシスタ ント	米国	04.08.20～ 05.08.19	東京大学大学院 人文社会系研究 科	欲望に応じて：東京ホストクラ ブと東京ホステスクラブにおけ る恋愛の商品化
22	GARCIA RODRIGUEZ, Amaury Alejandro	エル・コレヒ オ・デ・メヒコ アジア・アフリ カ研究センター 博士課程	メキシコ	03.09.10～ 04.08.09	国際日本文化研 究センター	江戸時代の枕絵木版画と幕府に よる検閲（1660～1868年）

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 (6)招へいフェローシップ(短期) [米]

人文・社会科学分野の学者、研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 13,288,553円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	HUR, Nam Lin	ブリティッシュ・コロンビア大学アジア学科準教授	カナダ	04.07.01～ 04.08.29	東京大学文学部 人文社会系研究科	禅僧と日本の朝鮮侵略、1592～1598：西笑承兌を中心に
2	MCKNIGHT, Anne	マギル大学東アジア研究学部准教授	カナダ	04.07.19～ 04.08.09	立命館大学文学部	中上健二と戦後のマイノリタリアン文学
3	TAFARODI, Romin William	トロント大学心理学部准教授	カナダ	04.03.16～ 04.05.14	東京大学大学院 人文社会系研究科	日本とカナダにおける自己評価－構造的分析
4	AMYX, Jennifer Ann	ペンシルバニア大学政治学部助教授	米国	04.05.07～ 04.06.29	経済産業研究所	日本政治経済における制度実績とシステム過渡期の分析
5	ATKINS, E. Taylor	北イリノイ大学歴史学科助教授	米国	04.09.01～ 04.09.21	国際日本文化研究センター	「アリラン」の二つの道－朝鮮の抵抗歌、日本の流行歌
6	FREEMAN, Laurie Anne	カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校助教授	米国	04.07.24～ 04.08.15		情報科学技術と民主主義：日米比較研究
7	KATADA, Saori	南カリフォルニア大学国際関係学部準教授	米国	04.05.27～ 04.07.25	経済産業研究所	日本と地域主義:国際要因と国内要因の関連性
8	MARRA, Michael Ferruccio	カリフォルニア大学ロサンゼルス校東亜言語文化学部教授	米国	04.11.19～ 05.01.02	京都大学文学部	哲学者と詩歌-京都学派の美学
9	MCDONALD, Keiko	ピッツバーグ大学東洋学部教授	米国	04.06.02～ 04.07.07	東京フィルメックス	映画を作る女性達:日本女性監督編
10	ROSENBERGER, Nancy, Ross	オレゴン州立大学人類学部教授	米国	04.09.23～ 04.11.21	札幌医科大学保健医療学部一般教育科・社会学	日本女性の人生設計における改革の試みについて
11	THOMAS, Julia Adeney	ノートルダム大学歴史学部助教授	米国	04.07.10～ 04.08.05	立教大学法学部	写真とデモクラシー：占領下の日本における歴史と性
12	UYEDA, Tanya Tomoko	ボストン美術館アジア部門副学芸員	米国	04.09.03～ 04.10.05	共立女子大学家政学部被服学科	肉筆浮世絵の表具のあゆみ

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
13	ZWICKER, Jonathan Elias	ミシガン大学ア ジア言語文化学 部助教授	米国	04.06.01～ 04.06.30	千葉大学日本文 化学科	血の涙-19世紀の日本における メロドラマ、小説と国民の想像 力
14	TANAKA, Michiko	エル・コレヒ オ・デ・メヒコ アジア・アフリ カ研究センター 教授	メキシコ	04.05.06～ 04.06.19	東京大学社会科 学研究所	日本の政治と政治思想 1983～ 2003

2. 人物交流事業費	(7)文化人短期招へい(国際会議) [米]
------------	-----------------------

国内で開催される国際会議等（学会、シンポジウム、ワークショップおよび講演会を含む）において、重要な役割を担う諸外国の専門家を招へいする。

合計額 2,119,970円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	ANDERSON, Thomas	フロリダ州立大 学 美術教育学 部教授	米国	04.08.09～ 04.08.17	美術教育の権威トム・アンダーソン氏を迎え、美濃市の環境や文化を生かしたワークショップを開催
2	BARRETT, Timothy	アイオワ大学紙 研究センター長	米国	04.06.24～ 04.07.02	「和紙の発展：世界の手漉き紙からみた可能性」というテーマで日本紙アカデミー講演会（京都）、全国手漉き和紙青年の集い（東京）、石州半紙技術者会（鳥根）において講演・意見交換を行なった
3	MARCUM, Deanna Bowling	米国議会図書館 副館長	米国	04.07.05～ 04.07.10	金沢工業大学国際ラウンドテーブル会議において「デジタルライブラリーとしての世界の動向」と題して基調講演を行なった
4	NEMITZ,Craig A.	全米災害救援ボ ランティア機構 (NVOAD) 緊 急災害援助責任 者	米国	05.01.16～ 05.01.24	2005年1月の阪神・淡路大震災の10周年にあたり、アメリカのネットワーク構築の経緯、現状等の講演実施
5	WONG,Sau- ling Cynthia	カリフォルニア 大学バークレー 校教授	米国	04.09.24～ 04.10.01	アジア系アメリカ文学研究会(AALA)15周年記念国際フォーラムにおいて特別講演を行なった

米州交流事業費

3. 催し等事業費 (1)国際会議出席(助成)[米]

海外で開催される国際会議、シンポジウムなどに招請され、講義、基調論文の発表を行なうなど指導的役割を果たす日本国内の人文・社会科学または芸術分野の専門家に対して助成を行なう。

合計額 850,970円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	チュミクリス チャン	京都大学農学研究科森林科学専攻	米国	04.08.27～ 04.09.04	ピュージェット サウンド日本庭 園協会	「重森三玲の世界」をテーマとした講演の実施
2	中村錦平	多摩美術大学工芸学科長・教授	米国	04.11.04～ 04.11.08	ハーバード大学 アート研究室 (陶芸プログラム)	世界から注目されている日本陶芸の研究を促進。「日本陶芸の文化的ルーツと現代的表現」といったテーマのもとに日米両サイドから学者、キュレーター、評論家、歴史家、実作者がそれぞれの専門から発表、ディスカッションを実施
3	染田秀藤	大阪外国語大学 教授	ペルー	04.08.08～ 04.08.14	国立サン・マル コス大学	「16、17世紀のスペイン語文書に見る日本人像とアンデス住民像の相違に関する考察」をテーマに論文発表を実施

4. 文化資料事業費 (1)図書寄贈 [米]

海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書等を寄贈。日本に関する理解・研究を促進するため基金が図書を購入し、申請機関に送付する。

合計額 14,872,049円

	国	機関	部数
1	カナダ	カールトン大学図書館	35
2	カナダ	ウォータールー大学	16
3	カナダ	セント・メリーズ大学	42
4	カナダ	トロント大学チェン・ユー・タング東アジア図書館	75
5	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学図書館	26
6	カナダ	アルバータ大学図書館	39
7	米国	Otterbein College	96
8	米国	ペンシルバニア・スリッパリー・ロック大学	85
9	米国	University of Wisconsin- Eau Claire	67
10	米国	The Art Institute of Chicago	2

	国	機関	部数
11	米国	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	74
12	米国	メリーランド大学 カレッジ・パーク本校	80
13	米国	クラーク財団ルース・アンド・シャーマン・リー日本美術研究所	79
14	エル・サルバドル	エル・サルバドル工科大学	25
15	キューバ	国立芸術学院	56
16	ジャマイカ	西インド諸島大学図書館	53
17	ドミニカ共和国	アベック大学	10
18	ホンジュラス	国立教育大学	23
19	アルゼンチン	国立ラ・プラタ大学国際関係研究所	15
20	アルゼンチン	サルタ・カトリック大学	99
21	コロンビア	ルイス・アンヘル・アランゴ・図書館	40
22	スリナム	上級教師研修所 Advanced Teacher Training Institute	30
23	チリ	サンチャゴ国立大学	101
24	チリ	ガブリエラ・ミストラル大学	31
25	ブラジル	カシアス・ド・スル総合大学	102
26	ブラジル	ブラジリア大学中央図書館	59
27	ブラジル	リオデジャネイロ州立大学日伯現代学術文化交流プログラム	72
28	ベネズエラ	ロス・アンデス大学	41
29	ペルー	国立サンマルコス大学アジアプログラム	104